

地球環境保全に配慮した取り組み・脱プラスチックを推進 機内ドリンク用紙コップを環境に優しい『間伐材』素材へ変更 ～ 付属のフタ・ストローはプラスチックから紙素材へ ～

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、2021 年 9 月 1 日(水)から地球環境保全に配慮した取り組みの一環として、機内ドリンク提供用として使用していたプラスチックコーティングされた紙コップから“間伐材”を使用した素材へ変更します。また、プラスチック素材を使用していた紙コップ用フタ・ストローも紙製素材へ変更します。

間伐材とは、一部の木を伐採することで残った木の成長を促し、森林の健康を守る事を間伐と呼び、その材木を間伐材と呼びます。近年では環境保全を考えた間伐材の有効活用がさまざまな分野で注目されています。

ソラシドエアが運航する九州・沖縄を中心とする全便〔14 路線 78 便/日〕を対象とし、脱プラスチックを推進してまいります。また、すでにマドラーについては、木製マドラーへ変更しております。機内ドリンク提供用の機内物品を環境に優しい素材で揃え、お客様にも安心してご利用いただけます。

これまで航空機による温室効果ガス排出量および燃料使用量の削減の他、運航方式・空港&機内オペレーション・機体整備・機材による燃費向上に取り組んでまいりました。このたび機内物品を対象とした環境への取り組みを図り、更に地球環境保全を推進してまいります。

これからも、地球環境保全に向けて更に取り組み、地球にやさしい・愛される エアラインを目指します。

記

【概要】

- 運用開始日:2021 年 9 月 1 日(水)
- 対象物品:紙コップ(間伐材の素材へ変更)/フタ・ストロー(紙製素材へ変更)
- 対象路線:全路線 (14 路線 78 便/日)
- 運航機材:ボーイング 737-800 型機〔座席数:174 席(13 機)・176 席(1 機)保有〕



<間伐材紙コップ・紙製ストロー>



<紙製コップ用フタ>

以上